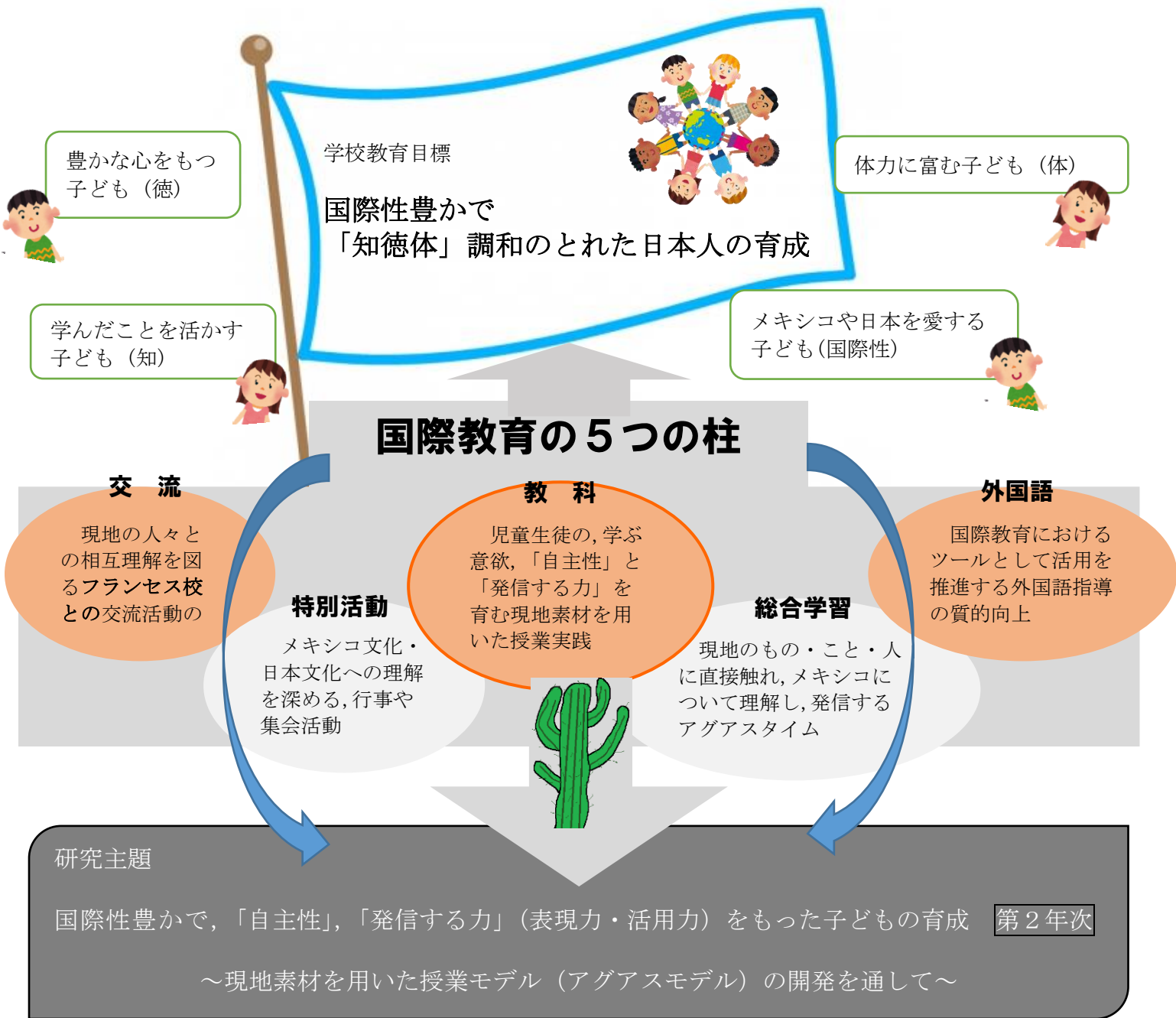


平成29年度 研究全体構想図



<研究仮説>

現地素材を用いた授業を通して, メキシコ文化・日本文化理解を深めるとともに, 「相手・目的意識」をもたせながら, 表現・活用する場を設けて評価をすれば, 児童・生徒の「自主性」, 「発信する力」は高まっていくだろう。

<研究内容>

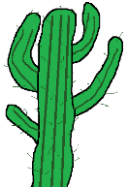
1. 児童・生徒の現地素材を用いた授業モデル「アグアスモデル」の開発
～現地のもの・こと・人の教材化と授業での効果的な活用法～
2. 全教員年2回の授業実践における, 児童・生徒の実際を考察
3. 年2回の国際教育に関する児童・生徒のアンケートの実施と考察

現地素材を用いた授業モデル

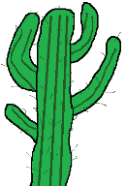
アグアスモデル

アグアスカリエンテス日本人学校





アグアスモデル



～学ぶ意欲、「自主性」と「発信する力」を育む現地素材を用いた授業実践～

○アグアスタイム（総合的な学習の時間）・・・児童生徒の現地理解を主目的とした授業

○各教科実践・・・教科のねらいを達成するのが主目的とした授業（主目的）

学ぶ過程や学んだ先に、現地理解の要素も含まれる。（副目的）

現地素材を用いた実践を行うことは、「アグアスでしかできない学び」を具現化することであり、児童生徒の学ぶ意欲、「自主性」や「発信する力」の高まりを期待できる。

A 単元組込み型

① 単元並列型



現地素材

（比較・対比）→ 教科のねらい
（主目的）

教科書教材

現地素材と教科書教材の比較・対比を中心とし、ねらいに迫る単元構成。

例) メキシコと日本のごみ処理の仕方(4年社会)

② 単元直列型



現地素材→教科書教材 →

教科のねらい
（主目的）

教科書教材→現地素材 →

単元の導入や終末に、児童生徒にとって身近な現地素材を取り入れ、ねらいに迫る単元構成。

例) マヤ数字を解明しよう！（4年算数）

B トピック型



教科書教材には取り扱われていない単発的な学習内容（現地素材）

*児童生徒の発達段階に対応した学習内容に留意

現地素材を用いて、教科の興味・関心を深め、新たな発見や気付きがある授業。児童生徒の自主性・発信する力を高める授業構成。例) メキシコの民話を読もう(国語)